時空散走 iwaki

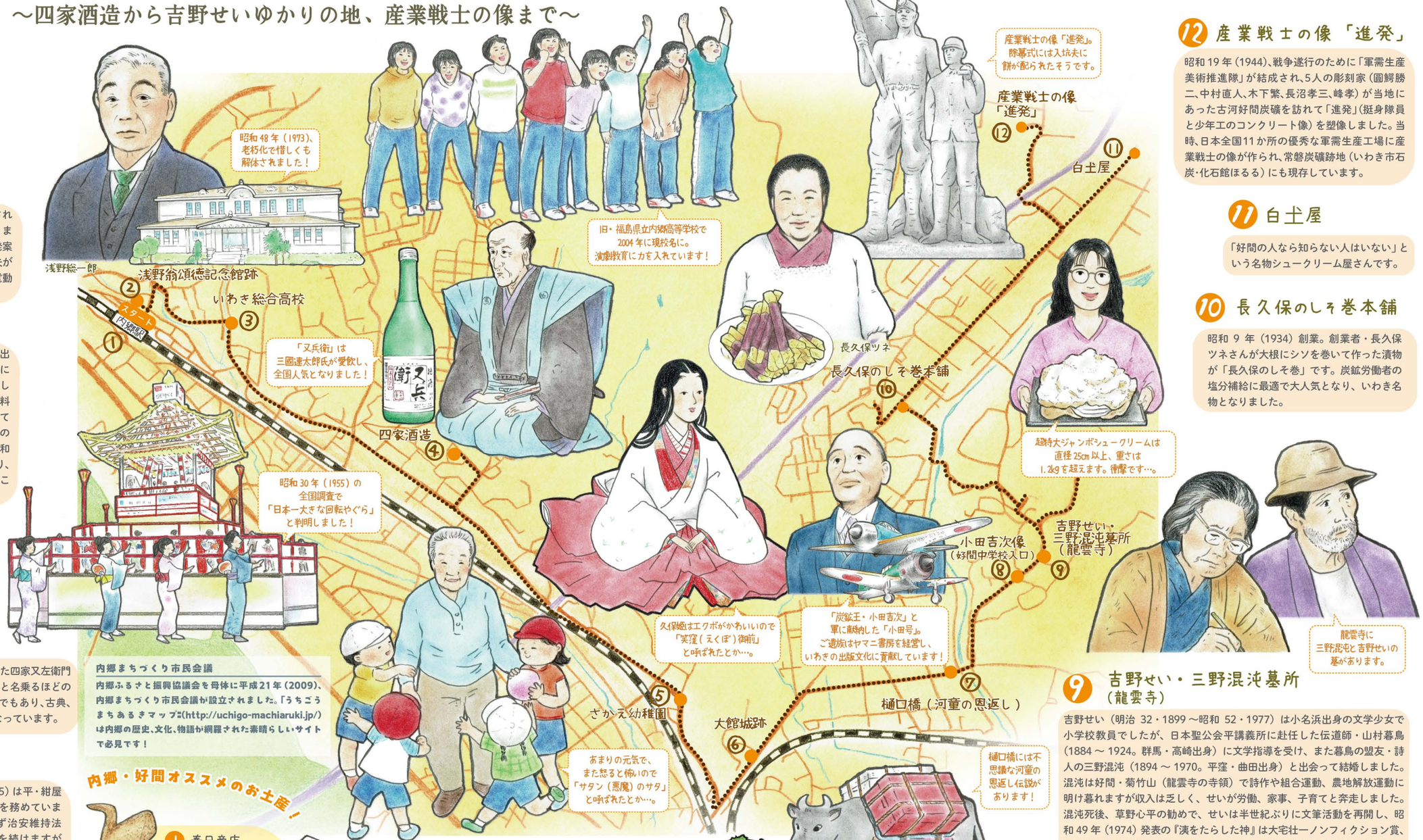
内郷・好間（内郷駅）

距離：約10キロ　サイクリング所要時間：約60分　ウォーキング所要時間：約150分

磐城統一！戦国大名・岩城氏の夢の跡・大館城跡へ

～四家酒造から吉野せいゆかりの地、産業戦士の像まで～

平安時代末に陸奥国岩城郡の豪族として発祥した岩城氏は鎌倉時代以降には岩城・白土・好嶋などに分裂して対立します。しかし15世紀頃に白土系岩城氏（10代親隆・11代常隆の頃）が台頭し、ついに宿願であった「磐城地方統一」を果たしました。内郷駅から高坂を経て久保姫ゆかりの大館城、好間・小田炭鉱ゆかりの地などを巡ります。



1 内郷駅

駅前広場で毎夏「いわき回転やぐら盆踊り大会」が開催されます。昭和27年（1952）に炭鉱事故犠牲者の慰霊で始まりました。珍しい回転やぐらは常磐炭礦の羽重田政門係長の発案で常磐炭礦が製作に加わりました。当初は力自慢の炭鉱夫が動かす人力でしたが昭和34年（1959）、モーター駆動の電動式回転櫓となりました。

2 浅野翁頌徳記念館跡

浅野総一郎（嘉永元年・1848～昭和9年・1934。富山・氷見出身）は横浜で石炭商を始め、常磐炭田に進出して磐城炭礦（後に大倉財閥の入山採炭と合併して常磐炭礦となる）を創業しました。石炭ガス製造後の骸炭（コークス）がセメント製造の燃料に使えると浅野セメント（現・太平洋セメント）を創業して成功し、「セメント王」と呼ばれました。昭和5年（1930）、その偉業を記念して当地に浅野頌徳記念館が建造されました。昭和23年（1948）には福島県演劇コンクールの予選会場となり、いわき中の演劇集団が結集し、「戦後いわきの市民演劇はここから始まった」と『いわき市史』に記載されています。

3 いわき総合高校

毎年、全国区で活躍する劇作家を招聘し、書き下ろし脚本の提供と演出指導を受けます。2014年、飴屋法水氏の脚本『ブルーシート』は第58回岸田國士戯曲賞を受賞しました。

4 四家酒造

創業弘化2年（1845）。農業の傍ら薬屋なども手掛けていた四家又左衛門（又兵衛）福房は俳号を「真酒躬（ますみ）」（真の酒飲み）と名乗るほどの酒好きで酒造を始めました。当代一流の文化人、教養人でもあり、古典、地誌など多くの文献を蒐集し、第一級の地域研究資料となっています。

5 さかえ幼稚園

創業者の吉田サタ（明治40年・1907～平成27年・2015）は平・紺屋町出身で福島女子師範学校卒業後、好間村で小学校教員を務めていましたが、炭鉱の組合運動に参加し、妊娠中にも関わらず治安維持法違反で平警察に逮捕されました。東京に移住して教職を続けますが東京大空襲に遭い、いわきに帰郷します。昭和35年（1960）当時、内郷に幼稚園がなく内郷の子が遠く平の幼稚園に通う途上で交通事故死する悲劇があり、53歳にしてさかえ幼稚園を開園しました。100歳を超えても幼稚園で働き、いまも地域で語り継がれる名物園長でした。

6 大館城跡

磐城統一を果たした白土系岩城氏の居城です。当地で生まれたのが岩城重隆（？～1569）の長女・久保姫（1521～1594）です。「東北一の美女」と評判でしたが、白河の結城家に嫁ぐ途上に伊達晴宗（1519～ 1578）に強引に略奪されました。衝撃の出会いですが意外にも2人は相思相愛となり、六男五女に恵まれ、孫として生まれたのが伊達政宗（1567 ～ 1636）です。久保姫は疱瘡で片目を失明した幼少期の政宗を慈しみ、政宗も生涯、祖母を思慕したといいます。政宗は久保姫の死後、菩提供養として仙台に裁松院を建立しています。

7 樋口橋（河童の恩返し）

かつて好間川には河童がいましたが、洪水で河童の巣穴に鍬（くわ）が入り込みました。河童は鉄が毒なので通りがかった樋口の伊平に助けを求め、鍬を取って貰います。後日、河童は「夏井川に引っ越します。お礼に深夜、樋口橋に赤と白の荷を背負った牛が通るので好きな方を受け取ってください」というので、伊平さんが赤の荷を取ると牛は煙のように消えました。その後、毎年のようにお金が入り、村一番の資産家になりました。

8 小田吉次像（好間中学校入口）

小田吉次（明治14・1881～昭和32・1957）は秋田出身で10代から鉱山労働を始め、大正3年（1914）、33歳の時に廃抗を買い取って「小田炭礦」を始めて大成功し、「炭鉱王」と呼ばれました。極貧で教育が受けられなかったので教育振興に熱心で、磐城高校女学校（現・磐城桜が丘高校）に講堂、磐城高校に図書館、好間中学校に体育館などを寄贈しました。また太平洋戦争中には軍用機「小田号」を陸軍・海軍に献納しています。戦後、昭和30年（1955）に小田炭礦閉山のさいは全従業員に貯金を分配しました。

9 吉野せい・三野混沌墓所（龍雲寺）

吉野せい（明治 32・1899～昭和 52・1977）は小名浜出身の文学少女で小学校教員でしたが、日本聖公会平講義所に赴任した伝道師・山村暮鳥（1884～ 1924。群馬・高崎出身）に文学指導を受け、また暮鳥の盟友・詩人の三野混沌（1894～ 1970。平窪・曲田出身）と出会って結婚しました。混沌は好間・菊竹山（龍雲寺の寺領）で詩作や組合運動、農地解放運動に明け暮れますが収入は乏しく、せいが労働、家事、子育てと奔走しました。混沌死後、草野心平の勧めで、せいは半世紀ぶりに文筆活動を再開し、昭和49年（1974）発表の『洟をたらした神』は大宅壮一ノンフィクション賞、田村俊子賞を受賞。76歳の「百姓バッパ」の快挙に世間は瞠目しました。

10 長久保のしそ巻本舗

昭和 9 年（1934）創業。創業者・長久保ツネさんが大根にシソを巻いて作った漬物が「長久保のしそ巻」です。炭鉱労働者の塩分補給に最適で大人気となり、いわき名物となりました。

11 白土屋

「好間の人なら知らない人はいない」という名物シュークリーム屋さんです。

12 産業戦士の像「進発」

昭和19年（1944）、戦争遂行のために「軍需生産美術推進隊」が結成され、5人の彫刻家（圓鰐勝二、中村直人、木下繁、長沼孝三、峰孝）が当地にあった古河好間炭礦を訪れて「進発」（挺身隊員と少年工のコンクリート像）を塑像しました。当時、日本全国11か所の優秀な軍需生産工場に産業戦士の像が作られ、常磐炭礦跡地（いわき市石炭・化石館ほるる）にも現存しています。

内郷まちづくり市民会議

内郷ふるさと振興協議会を母体に平成21年（2009）、内郷まちづくり市民会議が設立されました。「うちごうまちあるきマップ」（http://uchigo-machiaruki.jp/）は内郷の歴史、文化、物語が網羅された素晴らしいサイトで必見です！

内郷・好間オススメのお土産！

1 春日商店

昭和25年（1950）頃、創業。炭鉱閉山後に手羽の唐揚げを始め、いまでは「春日の手羽を知らない人は内郷人じゃない」といわれるほどのソウルフードです。

内郷高坂町三本杉 29-9

2 佐藤製菓店

名物の馬方ようかんは絶品です。馬方さん（馬で荷物を運ぶ人）が好んだから、その名がついたといいます。

好間町下好間一町坪 3-2

3 菓子舗たちばな

創業80年を超す老舗和菓子屋でしたが横浜で洋菓子店を営んでいた娘夫婦が帰郷して和洋菓子店になりました。

好間町上好間山下 45

4 いわきワイナリー ガーデンテラス&ショップ

ブドウ畑と雄大な阿武隈山系を眺めながら地産地消のワインが楽しめます。

好間町中好間半貫沢 34-72

5 和菓子ふくみや

名物「豆大福」は毎日500個販売するという超絶人気メニューです。

内郷綴町秋山 25

※このマップは現地取材や資料に基づいて作成されていますが専門家によって諸説あります　真実はあなた自身が現地を訪れてみて発見してください。

UCHIGO/YOSHIMA 内郷・好間

諸説あり

＜いわき時空散走プロデューサー＞ 陸奥賢　＜いわき時空散走事務局長・コーディネーター＞ 寺澤亜彩加　＜スーパーバイザー＞ 権丈泰巳　＜マップデザイン・イラスト＞ 藤城光＆フジキカオリ　＜リサーチ協力＞ 石島彗夢、奥村サヤ、三室千鶴子　＜スペシャルサンクス＞ 内郷まちづくり市民会議、四家久央、鮫島大仙、白土和男、中村靖治

お問い合わせ　0246-85-0170（いわき自転車文化発信・交流拠点ノレル？）　contact@jiku-sanso.jp（いわき時空散走事務局）

※このマップは、いわき自転車文化発信・交流拠点「ノレル？」の「いわき時空散走」プロジェクトのための資料です。2024年6月現在のもので道路状況なども変更されてしまう場合があります。最新の地図と照合しながらご使用ください。